

CLC からしだね書店便り

2025 December

no.60

12

今月のご案内

- ① 連載 最終回「歴史と対話し歴史に学ぶ」
＋連載を振り返って
- ② お知らせ ● 新連載予告と著者からひとこと
● 地下古書部から ～内村鑑三のこと～
● クリスマス茶会のお知らせ
- ③ 読書感想本 『催眠術の日本近代』
- ④ いのちのことば社 オリーブス おすすめ情報

CLCからしだね書店では…

- ① キリスト教書だけでなく、福祉、心理、精神、哲学、児童書、その他一般の良書もそろえています。
- ② お洒落でかわいい雑貨や小物もあります。
- ③ ブックカフェとして、ドリンクやスイーツ、ランチも提供しています。ゆっくり本を読みながら、お過ごしください。
- ④ コーヒーを飲みにきてくださるだけでもけっこうです。ドリンクを片手に、本をお楽しみください。
- ⑤ 古書のコーナーもあります。ほりだしものもあります。
- ⑥ 読書会や著者を招いての講演会など、人と人が出会い、つながる「対話」の場を提供します。

CLCからしだね書店 & カフェ トライアングル
営業時間 11:00-17:00
定休日 日曜日と年末年始（※祝日も営業）
毎月第3木曜日は書店のみ営業

年末年始のお知らせ

2025年

12月24日(水) までは、通常営業

12月25日(木) 書店営業 (11:00～17:00)

カフェ (11:00～13:00 ラストオーダー12:30)

12月26日(金) 書店のみ営業 (11:00～17:00)

12月27日(土) ～ 2026年1月4日(日) 冬季休業

2026年1月5日(月) ～ 書店・カフェ 通常営業

CLC
INTERNATIONAL

小説を紹介するのは、私のような者には難しい限りです。単なるダイジェストだと、あんこの入っていないあんパンになってしまいます。もし興味をもたれたら(もたれなくても!)、是非ドストエフスキーの小説を実際に読んでみてください。



な面があり、人を公衆の前で辱めたこともあります。しかし、自分が卑劣漢であることを意識し、「高潔」であらうとしています。彼は「隠れた自己」を認め、もがき苦しみがら、グルーシエニカと愛と信頼の関係を築いていきます。この展開は是非実際に小説で味わってください。彼が夢で見る幼児のシーンはこの小説の白眉です。ドストエフスキーが造形した最も魅力的な男性はドミートリイとムイシキン公爵だと僕は思います。姉さんは女性では『白痴』のエパンチン將軍夫人エリザヴェータがいいと言っていましたね。

有一..
ほくはラスコーリニコフの友人ラスミールと『未成年』のア
ルカージイが好きですね。

はじめ..
アリョーシャの場合、ソシマ長老と出会ったことが重要でした。そのソシマ長老の人生の転機となったのは、青年将校のとき恋愛が原因で起こした決闘事件です。決闘の日の夜明け、太陽がさし小鳥が神をたたえる中、彼は心の奥に「**なにか汚らしい、卑しいもの**」を感じます。彼の「隠れた自己」です。前日に農奴出身の従卒を理由なく厳しく殴りつけたことを想い出し、彼が九才の時、十七才で死んだ兄マルケルが農奴出身の召使いに、「どうして僕に仕えてくれるんだい? 仕えて貰うような値打ちが僕にあるだろうか?」と語っていた記憶が闇に甦ってきます。マルケルは「人間は誰でもあらゆる人あらゆるものに対して、すべての人

の前に罪があるのです。…そうです私こそ世界中の誰にもまして罪の深い人間なのです」とくり返し語っていました。ソシマは、即座にその従卒に謝罪し、「おれに対してなんの罪もない人間を殺しに行こうとしている」と考え、決闘の場で謝罪し、修道院に入ります。アリョーシャはこのソシマを師として仕えます。ところがソシマ長老が死んだ時、その日に遺体から腐臭が生じ、修道院をはじめ町中が騒然とします。人々は聖人が亡くなった時は、芳香がして奇蹟が顕れると考えていたからです。

有一..
このシーンを読んだ時は、僕もショックでした。何故このような設定にしたのでしょうか? アリョーシャは、敬愛する師の名譽が傷つけられたことに強い衝撃を受け、そのような「神の世界は認めない」とイワンのような発言までしていますね。

はじめ..
腐臭事件はソシマを理解する上で極めて重要です。それを通じてソシマの宗教的生が、イワンが言うような奇蹟と神秘の上ではなく、自由と個々人への愛に立脚するものであることを、ドストエフスキーは示そうとしたんだろうと思います。この動揺からアリョーシャが立ち直っていく場面 第七編「本の恋」のエピソードと「ガリラヤのカナ」の描写は、先ほどのドミートリイの夢とともに、すばらしいですね。そこにアリョーシャの再生が描かれます。時間が余らないので、ドストエフスキーが「死産児」からの脱却のために重要視したことをあげておきます。

最終回

「死産児」からの脱却



森下有一(高二)..

ドストエフスキーに関するおじさんとの対話を振り返ってみました。一八六〇年代ロシアでは、生きることの意味を見出せなかったり、逆に自己を強烈に主張し力を求める若者たちが現れ、共通してそこから他者の自由を否定してテロに走る者がでてくることをドストエフスキーは指摘していたように思います。彼らは、一八四〇年代自由主義者の理想が崩壊し、現実と乖離していく中で、ニヒリズムに陥っていった。彼ら若者たちの核を死産児という新しいタイプとして、リアルに描き出したのがドストエフスキーの小説だった、と思いました。

山田はじめ(三七才)..

ドストエフスキーの小説には、それら死産児(ラスコーリニコフ、スタヴローギン等)を描くこと、他者と対等な関係を形成していった人物たち(シャートフ、マカール老人等)を描くという二つの側面があったように思います。

有一..

ドストエフスキーというと、今までは僕のイメージは前者でした。今日は後者について、特に『カラマーゾフの兄弟』から、じっくり聞きたいですね。

はじめ..

フォードル・カラマーゾフの三人の息子たちはみな個性的です。次男イワンは死産児の典型で、独力で大学を卒業したエリートです。彼は虐待される子供たちの事例を集め、そのような世界をつくった神は断じて認められないと言います。そして自由をめぐる、激しいキリスト教批判を展開します。人間は自由の重荷に耐

えられず、その自由を代わりに担ってくれる存在を求める。神とは、そのような弱さをもった人間が跪拝する存在で、奇蹟と神秘、権威・権力を基礎としている。他方、神が存在しないことを知った強者にはすべてが許される、と主張します。

有一..

うーん! 理解できる面もあるけれど、理想と自由が支配と服従に転化しているのでは。

はじめ..

フォードルの私生児スメルジャコフは、イワンのこの考えに立つて、フォードルを殺害します。「真の犯人はあなただとスメルジャコフに言われて、彼は動揺します。そこに彼の問題が潜んでいます。彼には「隠れた自己」があつて、それを自ら認めることも他人に知られることも恐れています。

有一..

それはどういうものですか。

はじめ..

否定しきることのできない良心との葛藤、実は自分が臆病者であること、そして最大の問題は、人類を愛しても一人ひとり愛せないことです。死産児からの脱却は「隠れた自己」を認めることから始まると、ドストエフスキーは考えていたと思います。

有一..

長男のドミートリイや三男のアリョーシャはどうなんですか?

はじめ..

ドミートリイは財産とグルーシエニカとの愛をめぐる父と争い、フォードル殺害の容疑で逮捕されます。彼は粗野で暴力的

連載を振り返って

この一年間、連載する機会を与えて下さったからしだね書店の皆様、感謝申し上げます。途中で連載の穴をあけることなく終えることができ、ほっとしています。

また、いろんな方々から感想やご意見を頂き、励みになりました。形式上のことでは、有一君は高校生らしくないのではないか、という感想をよく聞きました。最初のコンセプトが大人と子供の対話ということだったので、ぎりぎり対話相手を高校生に設定しました。しかし、そのコンセプトからずれていったことをおわび申し上げます。

もう一つは、私に姉さんがいたんですね、という知人の感想というか質問でした。私には晴子さんのような姉はおりません。これについても、弁明しておきます。当初、二人の対話を通じ、事実の重み・重要性を歴史を通して考える計画でした。その際、高校生は教えて貰う人、おじさんは教える人という対比に陥らないように、おじさんが弱さをもった人間であることを具体的に示すために、晴子姉さんを登場させることにしました。

連載をすすめていくうちに、当初の計画から外れてしまうことがさらに起こりました。その頃私ははじめて柴田翔『されどわれらが日々』を読みました。これは、一九五〇年代後半から日本共産党が武装闘争を放棄し学生運動も変質していく時代の青春像を描いた小説ですが、私は一九五〇年代初めの生まれなので、小説の雰囲気は感覚的に分かる面もあるのですが、そこで描かれた青春像は、当然クリスチャンとは異なると思いました。それで、有一君を聞き役兼「探偵」にした、はじめさんの成長をもう一つの軸に設定して、そのためにいろんなエピソードをはじめさんと晴子さんにちりばめることにしました。最後の晴子さんの手術は私の経験です。後半、親鸞、パスカル、ドストエフスキーを取り上げましたが、これらは、高松で十数名の仲間と二十年ほど続けている読書会の内容がもとになっています。

その他、知人からいろんな質問を受けました。一部はその後の連載に反映させましたが、多くはそのままになっています。また、連載時に字数の関係等で触れなかったことも多くあります。出来れば全体を書き直し、整ったものを関心のある方々に渡したいと思います。

最後に、連載を提案して下さいった坂岡隆司さんと、素敵なイラストではのぼのとした雰囲気を与えて下さった書店のみなさまに、もう一度感謝申し上げます。ありがとうございました。



Haruyuki Nakatani

- ① 「隠れた自己」の核にある罪の自覚と相互の救済
- ② 人類愛や祖国愛ではない、個々人への小さな愛の第一歩
- ③ 苦悩を負うこと（ドミートリイが体現）と祈り
- ④ 私と自由で対等な関係をもつ「他者」の発見。その関係へといざなう超越的な関わり。

有一..

④が分かりにくいです。

はじめ..

アリコーシャは、立ち直った時を振り返って、「あのとき誰かが僕の心を開いてくれたのだ」と語っています。

少し関係するので、有ちゃんのおかあさんから聞いたことを最後に話しておきます。

姉さんは大学四年のとき心臓病が見つかり、手術を受けることになりました。少々シヨックだったようです。医者からそのことを言われて、家に帰る列車のなかで黙って祈っていると、「私はあなたを捨てて孤児とはしない」という言葉がふと浮かんできたそうです。姉さんは神秘的な現象とは縁遠い人です。前の晩ヨハネ福音書十四章を読んでいて、その中にこの言葉があつて、それが浮かんできた、とのこと。ただこの時、キリストがともに手術を受けて下さる、と強く思ったそうです。この後、「わたしは世の終わりまであなたがたとともにいる」というマタイ福音書最後のキリストの言葉とその前提であるキリストの復活がすーと信じられるようになった。以上が姉

さんの復活信仰です。それから何年も経ってから、他の人にもキリストと共に歩んでおられるということに思い至り、キリストを媒介にして、自己中心から少し離れていろんな人との関わりを考えるようになった。これが姉さんにとって私の発見であるとともに、他者の発見への一歩であつた、と語ってくれました。

有一..

はじめて知りました。

はじめ..

照れくさかったのかもしれませんが。手術の後、姉さんはドストエフスキーの卒論を書くのですが、読み方が少し変わったそうです。復活はドストエフスキーにとって重要なテーマです。『罪と罰』ではラザロの復活、『白痴』と『悪霊』ではホルバインの『墓の中のキリストの屍』が取り上げられています。否定に傾いています。しかし『カラマーゾフの兄弟』は、アリコーシャが少年たちに死者の甦りと再会の希望を語るところで終わります。その続編は彼の死によって書かれませんでした。一般に皇帝暗殺がテーマだろうと言われています。姉さんは、それとともに、復活と新しい生活がポジティブなテーマとなっただろうと推測しています。

(了)

中台博幸（なかにひろゆき）

1953年奈良県生まれ。香川大学名誉教授。主な研究対象はヨーロッパ文化史、特にドイツ近世キリスト教文化。

注：『カラマーゾフの兄弟』は原卓也、江川卓、小沼文彦訳による。



2026年1月号から新しい連載が始まります

タイトル：『焚き火牧師とノスタルジック・パラドックス・パレス』

著者：大頭眞一さん

ノスタルジック・パラドックス・パレスという、ブライベート・ヘアサロンの理容師クニハルさんと、大頭牧師との、おかしみのあるやりとりを、コミカルタッチで描いています。

あくまでもフィクションです。

理容師クニハルさんは、キリスト教徒ではないけれど、キリスト教に関心があつて、そのあたりのクリスチャンなんかよりよっぽど聖書を勉強している人で、大頭牧師の頭をチヨキチヨキやりながら、キリスト教神学のプロ？大頭牧師に難問を挑んでくる…という想定です。で、クニハルさんからの難問は、普通のクリスチャンが「アタク」と思っているけど、あんまり口に出していないだけ、みたいな「難問」です。

第1回目の難問は、

「先生方のおっしゃる信仰義認は、どうにもふに落ちないんです。確かに人は誰も行いによつて救われるほどの良い行いをする事はできません。でも、だからといって、キリスト者はどんな生き方をしても救いから落ちる事はないなんて、とうてい思えねえ」

クリスチャンの皆様、いっしょに「難問」の答えを考えませんか？

「しんがく」は思ひで、難しいと思っておられる方が多いですね。でも「しんがく」は、ぼくたちが神に出会うときの實感を伝えようとするもの。いっしょに「しんがく」してみましょう。



CLCからしだね 地下古書部から

日本に多大な影響を与えたキリスト者の一人が内村鑑三です。

明治のキリスト教ブームが過ぎ、国家主義による教会の低迷期、不敬事件、日露戦争非戦論の展開、国家から、人々から、教会からも非難されました。そして、妻の死、娘の死を経験します。そして、大手町で毎週ロマ書講演をしました。ローマ5章の解説です。

『2節「神の栄光を望みて喜ぶなり」3節「艱難をも喜ぶ」の喜ぶは原語のカウカオマイである。これは英語の rejoice（喜ぶ）、boast（誇る）、glory（栄とする）などを意味する語であつて、勝ち得てあまりあるところのその勝利を喜ぶという意味である。1節より4節までを反復熟読せよ。信仰生活の特徴は遺憾なくこの数語の中に示されているではないか。これを霊的領得の上より見れば、神と和らぎ恩恵に入り妙なる希望を与えられて勝ち喜ぶ心境であり、これを實際生活の上より見れば、患難にありても、その生むところが忍耐、練達、希望なるがゆえに、勝利の光栄に酔う生涯である。』

『神を喜べり神にありて勝ち誇れりの意味である。単に怒りより救いださるるにとどまらず、救われて勝ち誇るに至る。かううじて救われたのではない。優に救われて、罪と死に勝ち得て余りあるのである。5章の1節～11節は歓喜と勝利の連続である。その伝える霊的事実のいかに貴く、ありがたきよ、そしてそのすべての根元は信仰によりて義とせられしという一字に存する。そして、これおのれの功によらず、もっぱら神の愛に基づくことである。感謝すべきかな、主の恩恵、賛美すべきかな、神の栄え！』

私たちの信仰生活が、勝利の光栄に酔う生涯であると高らかに叫んでいます。内村鑑三全集40巻があります。その他、内村鑑三の弟子たちの本も多数あります。【書店ボランティア 水野 健】

クリスマス茶会（表千家師範 水野健主催）のお知らせ

とき 2025年12月19日（金）14:00～16:30

場所 がらしだね館3階和室

参加費 600円となたでもご参加ください。茶道初体験の方、大歓迎です。



読書感想本「催眠術をかけたがる人々」

『催眠術の日本近代』

一柳廣孝著 法蔵館文庫 1,100円＋税



「あなたはだんだん眠くなる」。紐でぶら下げた五円玉を揺らしながら、クラスメイトを眠らせようと試みる小学生。『催眠術師と懷疑派の〇〇教授が対決！』といったテレビ番組の企画。「さいみんじゅつ」という技を使う「スリーパー」という怪しげなポケモン。私の世代（30代前半）にとって『催眠術』は、このような子どもの遊びやサブカルチャーの文脈で語られる、可笑しさと怪しさの混じり合ったものでした。それが本当だろうとデタラメだろうと、そもそもその真偽を真剣に論じること自体がどこか恥ずかしいものだったのです。

しかし催眠術がヨーロッパから輸入された明治時代の日本においては、その扱われ方は今では考えられないほど真剣なものだったようです。それは西洋の最新の「科学」の成果であり、大学でも教えられている有望な治療法でした。巷には「医療や教育において万能の効果を発揮する」と謳う催眠術書が溢れました。一種の『催眠術ブーム』があったわけですが、それも長くは続かず、幻術や霊術や心霊学といった怪しげな「術」や「学」と混交しながらオカルト化し、催眠術は文化の本流から押し出されていきま

した。『催眠術の日本近代』は、そんな催眠術がなぜ明治の人々をそれほどまでに熱狂させたのか、という問いを通して、日本の近代化の知られざる側面を照らし出そうと試みるものです。

「人を意のままに操る」という、催眠術が本来的に持つ権力性・暴力性ゆえに、それとの向き合い方は、人の隠れた動機や欲望を映し出す鏡になります。そのような催眠術の普及に尽力した人物の多くが教育者であつたこと。軍人たちの間で催眠術が流行していたこと。著者の指摘するこれらの事実が興味深いのは、そのような意味においてです。一体彼らは催眠術を通して何を自論んでいたのか？

このような政治的な示唆は別にしても、本書に紹介されている催眠術を巡る多数のエピソード自体が読んで面白いです。というのも、ほとんどの『催眠術師』たちは、「精神」やら「神霊」やらといった高尚なことを標榜してはいても、結局隠れた欲望を動機として動いていたということが、これらのエピソードからよくわかるからです。

例えば熊野を中心に全国を巡り、独自の「気合術」で人々に治療を施していた浜口熊蔵なる人物は、始め修験道や真言密教等をその「気合術」の基礎としていましたが、メディアに山師として取り上げられるようになるにつれて、自身の「術」を「気合術」ではなく「催眠術」と呼ぶことで信頼を回復しようとしたといえます。これは当時の催眠術が社会的に正統なものと認識されていたことを示すエピソードであると同時に、気合術だろうが催眠術

年末年始におすすめ商品のご紹介!

切り取ってPOPとしてもご使用いただけます

大きなぬいぐるみ ひつじのハグちゃん

お孫さんや
お子様へのプレゼントに
便利なギフトバッグ付き



子どもに近いサイズなのでいっしょに
寝たり、遊んだり…
ぎゅっと抱き
しめたくなる
ハグちゃん!

80cmも
あるよ!
こんなに大きい
のにリーズ
ナブル!



51020 ¥2,999 税込

■God Bless You しゅくふくがありますようにのタグ付き
■サイズ/タテ80×ヨコ31×奥行22cm ■材質/ポリエステル ■中国製

おいのりひつじのたっくん

ポーズが作れて自立します!
触り心地も抜群!



樹脂製の骨組みで
曲がることもなく、
小さなお子様でも
安心して扱えます。

500149 ¥2,999 税込

■God Bless You しゅくふくがありますようにのタグ付き ■サイズ/タテ
25×ヨコ13 (腕を伸ばすと25cm) ×奥行7.5cm ■材質/ポリエステル、
POM樹脂 ■対象年齢6歳〜 ■中国製

お祈りしーちゃん



両手は簡単にくっつくマグネットを
使用しています。

50877 ¥1,760 税込

■God Bless You しゅくふくがありますようにのタグ付き
■サイズ/タテ17.5×ヨコ12×奥行12cm ■材質/ポリエステル
■両手にマグネットが入っているので両手をあわせてお祈りポーズができます
■中国製

だろうが信者を獲得できればそれでいいという、この人物の変り身の早さというか節操のなさが如実に表れている話でもありません。さらに彼には、講義録を発行し、それを全部購入した者に「心霊学士」の称号を与える、という意地汚い商売をしていたという話もあります。

あるいは「大日本催眠術奨励会」や「帝国催眠学会」といった民間団体がつきつぎに組織され、それぞれが催眠治療だけでなく催眠術の通信教育を行っていました。それだけでなく、会員獲得戦略として催眠術の実験報告に関する「懸賞」の募集や「卒業証書」(要説定料)の発行を行っていたといえます。現代でいえばオンラインの自己啓発講座といったところでしょうか。

一方、心理学や精神医学といったアカデミズムの人々は、当初催眠術をどう評価すべきか、そのポジショニングを定めかねていました。とはいえ催眠術をはじめとする超常現象や霊能力一般に対する学術的な関心自体はかなり大きかったようです。しかし「千里眼事件」などの、霊能者が関わるスキャンダラスな事件の発生を機に、学会は催眠術をタブー視し始めます。学者たちも、自分たちが色物・オカルト扱いされるのが嫌だったのでしょうか。だとすれば、彼らの学者としての態度も、結局は世間体にな左右されていたということになります。

そもそも西洋的な唯物論や物質至上主義へのアンチテーゼとし

て、唯心論や精神主義を主張する人々が援用したのが催眠術でした。「西洋の自然科学においても、『霊』や『心』の存在は知られる」というわけです。しかし催眠術を巡る人々の言動から透けて見えるのは、右に書いたような、ちっとも「精神性」を感じさせない即物的な動機です。こうした例を見ると、実は私たちが催眠術に対して感じる胡散臭さの原因は、「催眠」そのものではなく、その「術」を使う人間の方にあるのではないかと思えてきます。

科学であると同時にオカルトでもあるという曖昧さ。説明可能な部分と神秘的な部分の共存。万人に開かれたハウツーとしての側面と、秘術としての側面。これらの相対する要素を共に含む催眠術は、それ自体が歴史研究の対象として面白いものです。しかしそれが面白いのは、催眠術が「人を思うままに操りたい」「尋常でない能力を得たい」という人々の欲望を刺激し、可視化するからに他なりません。そういう意味で、催眠術には確かに人を操る力があるとと言えるでしょう。

本書の魅力は、「近代日本の催眠術受容」という特定の対象の叙述を通して、人間が持つ普遍的な欲深さ、胡散臭さ、小賢しさと、それが引き起こすドタバタを描き出しているところにあります。生成AIなど、欲望を刺激する強力な「術」を手に入れた私たちの時代は、後世の人々の目にどのようなドタバタ劇として映ることになるのでしょうか。

【書店員G】

古書献本のお願ひ

たいへん申し訳ございませんが、送料をご負担
いただけるとありがたいです。(受付できないも
のもありますので事前にお知らせください。)



【献本をお願いしたい本の種類】

- 1 キリスト教書、キリスト教に関連した本(多少、書き込み等があっても、大丈夫です)
- 2 哲学、心理学等、人の生き方に関する本
- 3 社会の中で起きている問題を扱った本
- 4 暮らし(料理、健康、経済等)にかかわる本
- 5 小説(人の暮らし、尊厳、生き方を表現したものであればジャンルを問いません)
- 6 漫画(人の暮らし、尊厳、生き方を表現したものであればジャンルを問いません)

百科事典・辞書・開封済みのCD・
DVD・月刊誌・週刊誌、
自分史・教会の記念誌などは
受け付けておりません

【本の送り先】

住所: 〒607-8216 京都市山科区勤修寺東出町75 からしだね館
宛先: CLCからしだね書店 献本係 電話: 075-574-1001 FAX: 075-574-0025
Mail: clc@karashidane.or.jp

【本と一緒に以下の内容を記入したメモをお願いします】

- ①献本者のお名前 ②ご住所 ③お電話番号 ④メールアドレス
⑤さしつかえなければ、献本者の簡単なプロフィールをお願いします。



【献本感謝】

9月の古書の収益は47,590円でした

柴田珠江様、伊藤容子様、
山本和美様、吉本浩子様、
今本幸乃様、栗原邦子様(順不同)

【古本の売上を含むCLCからしだね書店の収益は、書店で働く障がい者の
の工賃になります】 献本くださった方のお名前を書店便りにご紹介さ
せていただきたいと思います。匿名ご希望の方は、お知らせください。ご寄
贈いただいた皆様、ありがとうございました。

編集を終えて...

◆1年にわたり、「歴史と対話し歴史に学ぶ」を執筆してくださった中谷博幸さんに、感謝いたします。ド
ストエフスキー作品は、日本人には馴染みのない膨大な数の登場人物の名前が覚えられずに挫折するという
話を聞いたことがあります。記憶力のない私はそれを聞いた時点で挫折しました。◆ものすごいスピードで
いろいろなことが変化しつつある現代、じっくりと時間をかけてドストエフスキーから学ぶというのもよい
かもしれません。◆救い主のご降誕をお祝いする月になりました。おさなごイエスの人生の第一歩が、エ
ジプトに逃避する生活だったということを、私はこれまであまり意識したことがありませんでした。けれ
ど最近、ヨセフとマリアが幼児を抱えて、水や食べ物や寝る場所を求めながら逃げ続ける生活が、どんな
にたいへんなことだったかと思うようになりました。聖書にはあまりにもさらっと書かれているので、想
像するしかないのですが、さぞや不安と恐怖に苛まれる日々だったことと思います。◆世界的に排外主義
の風が吹き荒れる今年のクリスマス、難民イエス様の御降誕の意味を、深く心に留めたいと思いました。
クリスマス、おめでとうございます。【店長】

編集・発行: 社会福祉法人ミッションからしだね
就労継続支援B型事業所からしだねワークス
CLCからしだね書店&カフェ・トライアングル

〒607-8216 京都市山科区勤修寺東出町75 からしだね館
書店電話番号 075-574-1001 FAX 075-574-0025
書店メール clc@karashidane.or.jp



CLCからしだね書店便り
のバックナンバーはこちらから